

港南造形タイムズ

第30号

音楽部が第6ブロック音楽会で演奏



11月13日(日)、「第26回 第6ブロック音楽会」が大阪府立今宮高等学校多目的ホールにおいて公立・私立13校が参加して開催されました。港南造形高校音楽部は、1期生から連続7年参加しています。當間先生の指揮で「学園天国」と「ポニーテールとシュシュ」を演奏し、会場から大きな拍手をいただきました。

なんばで「緑の募金」の街頭募金

10月25日(火)夕方、なんばにて「みどりの募金」の街頭募金活動を行いました。参加生徒は1年生から3年生まで14名。往来のはげしい場所での活動でしたが、生徒の呼びかけに足を止めてくださる方も多く、12,281円の募金が集まりました。



対話を通しての作品鑑賞体験

—全11回の連続高大連携授業を

兵庫県立美術館の協力も得て実施—

京都造形芸術大学芸術表現・アートプロデュース学科専任講師の伊達隆洋先生を招き、連続連携授業「対話を通しての作品鑑賞」を実施しています。

11月3日の初回の授業は、京都造形大学で大学生のACOP練習（Art Communication Project、「みる、考える、話す、聞く」の4つを基本とした対話型の美術鑑賞教育プログラム）に参加して対話の練習を行いました。

11月16日には本校で対話の練習、11月23日（水）には同大学で「対話による作品鑑賞入門」、11月25日には兵庫県立美術館でナビゲータを務める作品選びを行い、1月15日から2月15日まで兵庫県立美術館で同館ボランティアの方にも鑑賞者として参加していただいて実施する本校生徒による作品のナビゲーションに向けて、全11回のプログラムを進めています。

港南造形高校では制作だけでなく、造形教養教育でも文化の発展に貢献できる人材の育成に力を注いでいます。

